武蔵野の落ち葉堆肥農法体験会

所沢・85人参加

日本農業遺産に認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」の体験会が5日、所沢市城の雑木林で行われた。

落ち葉を運搬用のビニールシートに集める参加者＝所沢市城で

同市が毎年主催し、この農法を実践する市内の農家、池田佳弘さん(67)が借りている雑木林で行った。85人が参加し、落ち葉を熊手でビニールシートに集めては何度も運んだ。2カ所の集積場では、ふかふかの落ち葉を子どもたちが歓声を上げながら踏み、米ぬかをまき入れた。約1年発酵させ、池田さんの農場「陽子ファーム」で野菜栽培に使う。

東京農工大(東京都)大学院農学研究院の留学生ら7人も参加。初体験したウズベキスタンのゾキル・ラキモフさん(35)は「地域の資源を生かした有用な手法と思う」などと話した。池田さんは「落ち葉堆肥を使うと保水性もよく、野菜の味もひと味違う。多くの人に知ってほしい」と話していた。【清藤天】

番医案内

センター

-4199

応